

日々の業務に
ごだわりをもって

虹
技
山本幹雄社長



コロナ禍の反動から時間が経ち、好調な事業部門もあるが、中国の虹岡鑄鋼は今までにないほど苦戦を強いられている。国内でカバーしているが、今期の通期業績は減収減益を予想している。

ダーウィンの進化論の「唯一生き残るのは

変化できる者」の言葉通り、会社も変化していかなければならない。当社も昨年春には大型鑄物事業部と鉄鋼事業部を統合し、素材事業部にした。実際に統合すると従業員の意識が変化し前向きな行動に表れていると感じる。また、ESG経営を推進するため昨年12月にCO₂削減プロジェクトを立ち上げ、2030年のCO₂削減指標を実現すべくロードマップを作成している。

2024年度は第7次3カ年計画の最終年度。基本方針の「ごだわり」をもって日々業

